

誰もが楽しむことができ、 元気になれるような 「仙台・青葉まつり」を 目指します。

仙台・青葉まつり協賛会 実行委員長
ウエノ設備株式会社 代表取締役

うえの たかし
上野 隆士氏

プロフィール

昭和23年10月30日生まれ。仙台市出身。血液型O型。
昭和56年、仙台青年会議所の一員となり、仙台のまちづくりに尽力。仙台七夕花火祭の実行委員長、監事などを務め、昭和61年からスタートした「SENDAI光のページェント」では、企画段階から参加。仙台を代表する冬の風物詩の生みの親の一人でもある。平成元年4月、父親の会社から独立する形で、ウエノ設備(株)を設立、現在に至る。モットーは「自己満足しない人間の多くは、永遠に前進し、永遠に希望を持つ」。「これは魯迅の言葉なのですが、現状に満足せず、常に反省しながら改善しようとするのが前進につながると思っています」と話す。



見所は美しく修繕された 山鉦と御神輿

「仙台・青葉まつり」の開催が間近に迫っていますが、準備の状況はいかがでしょうか。

昨年三月の震災で壊れてしまった山鉦の修理も終わり、おまつりの準備も佳境に入っています。

伊達政宗公没後三百年を記念して昭和六十年に復活した「仙台・青葉まつり」も、今年で二十八回目を数えます。今回は「元氣発信!」ともに前へ、伊達の氣概を発信し、感動と再生へ心ひとつに!」をテーマに掲げ、皆さんに楽しんでいただける青葉まつりにしようと思っています。

昨年、私が実行委員長を仰せつかったわけですが、その時からスタッフに話しているのは、様々な準備をスピードアップしていこうということです。そして改革・改造できる場所は、どんどん変えていこうと話しています。しかし、それは実行委員会の組織内部の話であり、すずめ踊りの町流しや、山鉦巡行をはじめとする時代絵巻巡行など、市民の皆さんが参加したり、ご覧になるもの自体が大きく変わるわけではありません。ただ山鉦巡行やすずめ踊りの流し踊りについては、参加する祭連や団体の間隔が開かないよう配慮し、観客の皆さんを飽きさせないようにはしたいと思っています。

「今年の見所をお聞かせください。」

どこを見ても楽しんでいただけるように準備を進めています。特に今回は震災で壊れた部分を修復し、きれいになった二基を含む山鉦巡行を見ていただきたいですね。十九日の「宵まつり」では、初めての試みとなりますが、灯りをともした山鉦二基が定禅寺通を巡行します。ちようちんで装飾された山鉦を、今年は皆さんにお目に掛けることができそうです。

それから青葉神社の御神輿が、昨年の震災前に美しくお色直しをされたとうかがっています。昨年は震災の影響で、青葉神社神輿渡御も中止になりましたので、きれいになった御神輿は今回が初お披露目です。ぜひご覧ください。

「すずめ踊り」を通して 全国各地との交流も盛んに

「準備段階でのご苦労には、どのようなことがありましたか。」

何をする時でも苦労と思っはけませんし、私自身、仙台青年会議所の一員としてまちづくりに関わっていたころから、本当にたくさんの方々のご協力をいただいていたので、ですから恩返しのもりで、この実行委員長もやらせていただいています。今回も仙台商工会議所の会員の皆様はじめ、



昭和 61 年開催「第 3 回仙台・青葉まつり」のパレードに参加した時のひとコマ
(上野さんは写真中央)

たくさんの方々に協賛していただきま
した。とても感謝しております。今
年、初めて協賛をしてくださるとい
う企業も数多くいらつしやいます。こ
れは「仙台、がんばれ！」という気持
ちの表れであると受け止めています。
ファックスで送られてくる申込書に、
「がんばってください」というコメン
トを書いてくださった方もいらつしや
いました。とてもうれしかったですし、
このように支えてくださっている方々
がいることを伝えていかなければなら
ないと思っています。

― 仙台・青葉まつりに欠かせない、
すずめ踊りの踊り手の数も、着実に増
えているそうですね。

現在、その数は四千人弱にまで増え
ておりまして、踊りだけでなく、お
囃子のレベルも高くなっています。「私
たちのおまつりに来て踊ってください
い」と、全国各地からお声がかかるほ
どに知名度も上がっています。特に徳
島との交流が盛んで、三月には七人の
方が仙台にいらつしやって、阿波踊り
を教えてくださいました。毎年仙台か
ら徳島を訪れて、すずめ踊りを披露
しています。すずめ踊りには、阿波踊
りを盛り込んだ「徳島バージョン」も
あるんですよ。

また、当実行委員会が仙臺すずめ踊
り連盟として、仮設住宅を訪問してす
ずめ踊りの踊り方をお教えしたり、仙
台城跡で観光客の方々に舞を披露した
りもしています。

誰もが楽しめる

仙台・青葉まつりを末永く

― 5月の本番に向けた抱負をお聞か
せください。

来ていただいた方々に、とにかくお
祭りを楽しんいただきたいのです。そ
のためには、私たちも楽しくやってい
きたいと思っています。また、二十八
回目ともなりますと、すずめとして
踊っていた人たちが大人になり、今も
踊り手として仙台・青葉まつりを盛り
上げてくださっています。このような
伝統を継承して、仙台をますます元気

なまちにしていきたいと思えます。
「仙台・青葉まつり」の歴代委員長
を務められた方々の功績をさらに発展
させるよう、鎌田協賛会長にご指導い
ただきながら私もこの仕事を受け継い
でくれる後輩たちを育て、仙台の発展
のために、できる限りお役に立ちたい
と思います。おまつり当日は、パレー
ドなどが開催される会場に、ぜひ足を
お運びください。

【概要】第 28 回仙台・青葉まつり

<協賛会長 鎌田 宏 仙台商工会議所会頭>

〈宵まつり〉

5月19日(土):午前10時00分~午後9時00分

■開祭式/市民広場

■復興祈願山鉦

■子ども御輿

■杜の市/市民広場・勾当台公園・一番町買物
公園

■伊達縁/勾当台公園

■仙臺すずめ踊り2012

・すずめ踊り ・すずめ踊り大賞

事務局所在地:仙台市青葉区錦町一丁目3-9

仙台市役所錦町庁舎3階 TEL.022-223-8441

仙台・青葉まつりホームページ:<http://www.aoba-matsuri.com/index.html>

〈本まつり〉

5月20日(日):午前9時30分~午後6時00分

■時代絵巻巡行

・子ども武者 ・青葉神社御輿渡御

・政宗公本陣 ・支倉常長遣欧使節団

・山鉦巡行 ・すずめ踊り町流し

■五葉山火縄銃鉄砲隊

・出陣式 ・演舞式

■仙台消防はしご乗り隊

■伊達縁/勾当台公園

■杜の市/市民広場・勾当台公園

海

生命の母、たったひとつの『海』。

地球上のありとあらゆる生命の源、『海』。この、『母なる海』を、
美しいままで未来へと残していかなくてはなりません。21世紀
の子供たちも、今と同じようにこうして海で夏を過ごせるように。
そう私たちは考えています。私たちは青葉環境保全です。

— より良い環境をめざす —
AOBA 青葉環境保全

本社/仙台市若林区蒲町19-1

電話(022)286-3161(代)